超微細気泡発生装置　SMX115　取扱説明書

株式会社アスプ

1. はじめに

お願い

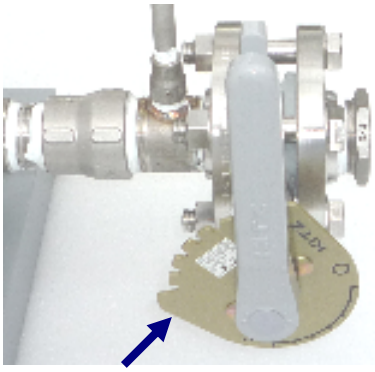
装置の近くには、臭いの出る物及び危険ガスが発生するような物は置かないでください。
空気を吸引して泡を発生させるため、臭いや危険ガスが水に溶け込む可能性があります。

装置は、ミクロの気泡を発生させる為に、精密な構造をしております。装置の上に物を載せたり、上に乗ったりしないでください。故障の原因になります。

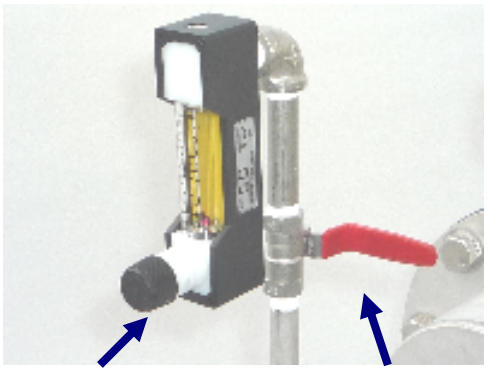
装置運転に当たっては、水槽・配管・装置内に水が充満され、また配管上の出口、入口の弁が開放されていることを、必ず確認してください。

※空運転は絶対行わないでください。（空運転によるポンプ焼付け防止）

2. 各部の名称

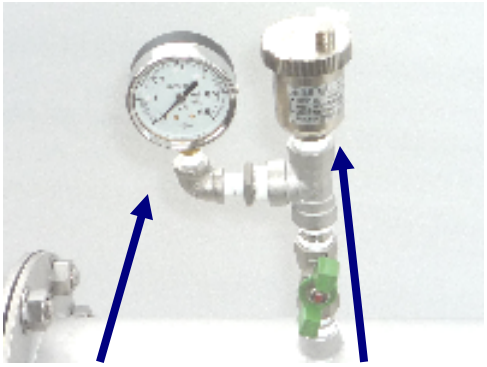


吸込調整バルブ

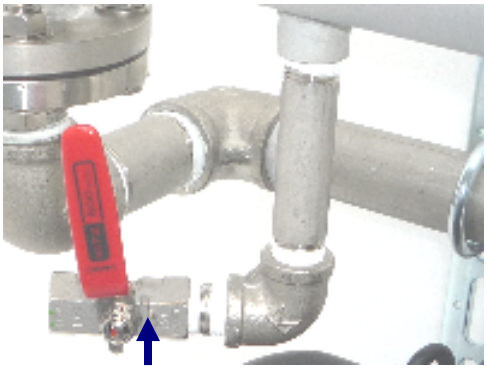


エア流量計　　エアバルブ

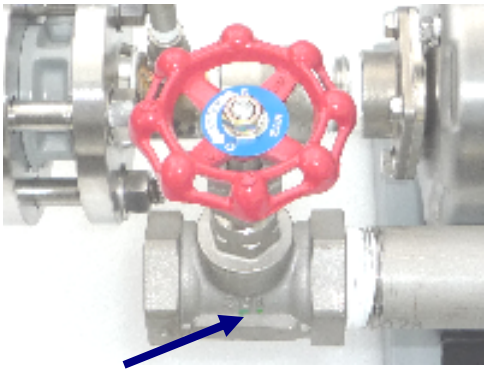
一次圧力計



二次圧力計　　自動エア抜弁



ヘッダードレイン



吐出調整バルブ

３．試運転調整方法

《　調整前の確認　》

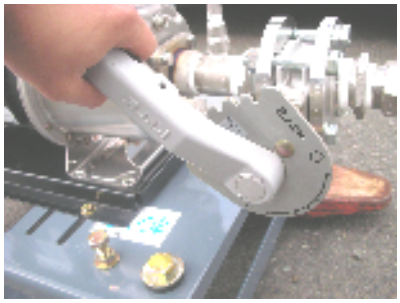
○　水槽が水で充満され、装置の除塵器に水が満たされていることを確認する。

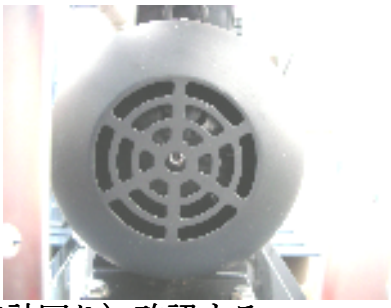
○　現場設置配管上の入口弁・出口弁が開いているのを確認する。

A.準備運転

１．装置の吸込調整バルブを〔　全　開　〕の状態で５分～１０分間準備運転をして下さい。

注）配管内のゴミや空気溜まりを取り除くため。





２．ポンプの回転方向（時計回り）確認する。

３．各部の締め付け水漏れ有無を確認する。

B.準備運転が終了しましたら、装置の運転を開始します。

４.①吸込調整バルブ目安の位置（裏に印あり）へ戻す。

②吐出調整バルブの調整をしながら、１次圧（目安：印あり）・２次圧（目安：印あり）を調整する。

５．エア流量計を調整（目安：印あり）し吸気量を調整する。

エア流量計の赤いボールが、2.5の目盛位置にくるように黒いツマミを廻して調整します。エアー流量計を全閉にしてから、すこしずつ開くようにして下さい。

注）各現場の諸要因により異なりますので、必ず記録を取り、目安として下さい。

４．日常の点検清掃

①ポンプの異音･異臭の確認点検

ポンプより、異音・異臭がした場合、すぐに運転を止めて点検します。

②一次圧計、二次圧計の各数値の確認

異常数値を表す場合には、装置を停止して点検します。

５．定期的メンテナンス

①ポンプのオーバーホール及びメカニカルシール･ベアリング等の交換

装置に使用しているポンプは、水と空気を混合させて、送り出すという特殊な働きをしています。長寿命のポンプですが、通常のポンプより部品の疲労が激しく、そのために、定期的なオーバーホールが必要です。

②吐出調整バルブの再調整及び交換

当装置の超微細な気泡は、金属をも削り取るような強力な破壊作用があります。(エロージョン現象： もちろんこれは、非常にミクロの世界での話ですが)
このために、バルブ内部が削り取られるという現象が発生します。

バルブ内部の疲労が激しい場合は、交換が必要です。